

# まほろば秦野通信

平成30年3月5日

タイトル	<b>新しくなります 秦野斎場 増築棟の竣工式と内覧会を開催します</b>
When (いつ)	3月17日(土曜日) 竣工式 午前10時～(1時間半程度) 内覧会 午後1時～3時
Where (どこで)	秦野斎場(秦野市曾屋1006番地)
Who (だれが)	秦野市伊勢原市環境衛生組合(組合長 高橋 昌和)
What (なにを)	秦野斎場増築棟の竣工式
How (どのように)	秦野斎場増築棟において、次のとおり竣工式を実施します。 ・テープカット(増築棟1階) ・式典(増築棟2階) ・竣工式招待者向け内覧会
Why (なぜ)	平成28年11月から建設工事を進めてきた秦野斎場の増築棟が竣工を迎え、平成30年4月1日に供用を開始します。 このことを記念し、御協力頂いた関係者の方々に新しい施設を披露すると共に、感謝の意を表すため、竣工式を開催するものです。 なお、竣工式終了後の同日午後1時から一般市民等を対象とした内覧会を開催いたします。
今後の取り組み	平成30年4月1日に増築棟が供用開始となり、新しい施設・設備での火葬業務が始まります。 なお、秦野斎場では引き続き、既存火葬棟の解体や待合棟の改修及び外構工事等を進め、平成31年3月に工事全体が完了する予定です。 <b>(秦野斎場増築改修工事の概要については、別紙をご覧ください。)</b>
ホームページURL	<a href="http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp/">http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp/</a>
問い合わせ	秦野市伊勢原市環境衛生組合 施設課葬祭施設班 電話0463(82)2502

## 秦野斎場増築改修工事について

秦野斎場は、昭和51年の供用開始から40年以上が経過しており、火葬炉設備や建物の一部に老朽化が進んでいます。また、高齢化の進展に伴い、現状の施設では将来的な火葬需要の増加などに対応できないため、平成28年11月から増築改修工事を進めてきました。この度、増築棟が竣工を迎え、平成30年4月1日に供用開始となります。

### 1 施設の概要

既存の秦野斎場は、火葬炉を5炉、待合室を5室設けた施設ですが、**増築改修工事後は、火葬炉が7炉、予備炉スペースが1炉分の8炉対応で待合室が8室**（※平成30年4月時点では4室）の火葬場となります。

また、従来の施設と比べ、排ガス処理や災害対策などの強化を図り、さらに光、風、地熱など自然エネルギーを有効に活用する環境に配慮した施設となります。

#### (1) 施設概要等

項目	概要	
区域面積	約5,900 m <sup>2</sup>	
建築面積	約2,450 m <sup>2</sup> （内、増築棟は約1,590 m <sup>2</sup> ）	
延べ面積	約3,250 m <sup>2</sup> （内、増築棟は約2,660 m <sup>2</sup> ）	
構造等	増築棟：鉄筋コンクリート造、鉄骨造の混構造2階建て 改修棟：鉄筋コンクリート造平屋建て、内外装を改修 既存火葬棟：増築棟の完成後に解体撤去	
火葬炉	台車式火葬炉8炉（うち1炉は予備スペースとし、当面は7炉で運用）	
排気筒	屋根と一体感を持ったデザインの排気筒を増築棟に設置	
事業費	1,961,787,600円（建築工事、電気設備工事、火葬炉設備工事、機械設備工事の合計額。既存火葬棟の解体工事費は含まず）	
主な設備等	排ガス対策関連	バグフィルター、再燃炉、送風機
	災害対策関連	1.25倍の耐震性を確保、燃料等備蓄槽、施設内で使用する雑用水の備蓄槽、非常用発電機等
	自然エネルギー関連	自然光利用の天窗、光遮蔽用の木製及びコンクリート製のルーバー、風を循環して排熱及び地熱の活用、雨水利用
	地産地消関連	床材及び壁と天井のルーバーに杉を主体とした地元産の木材を使用、内外木製ベンチ・照明カバー等に使用する組子細工は地元生産品
	その他	エレベーター2基、空調換気設備、火葬炉設備制御機器等

(2) 外観デザイン図

西側の工場側から見た秦野斎場外観



～「山並みと呼応する大屋根を持つ、ふるさとの民家」をイメージ～

正門側から見た秦野斎場外観



2 今後の予定

増築棟については、平成30年4月1日に供用開始となりますが、秦野斎場では、引き続き、既存火葬棟の解体や待合棟の改修及び外構工事等を進め、工事全体の完了は、平成31年3月を予定しています。